

徳島大学附属図書館アンケート結果 <詳細版>

2020年1月

1. 趣旨

このアンケートは、徳島大学附属図書館における利用実態を把握し、図書館活動の効果を検証するために実施した。アンケート項目は前回(平成28年度)実施した内容を中心とした上で、今回新たにIT環境に関する項目や、課題解決又はスキルアップの場としての図書館に対する満足度、利用者の意見収集・反映についての印象等を問う内容を追加した。また、電子ジャーナルなどの非来館利用も調査の対象として新たに加えた。このアンケート結果は徳島大学附属図書館自己点検・評価に活用する。

2. 実施方法

期 間： 令和元年10月8日(火)～10月21日(月)

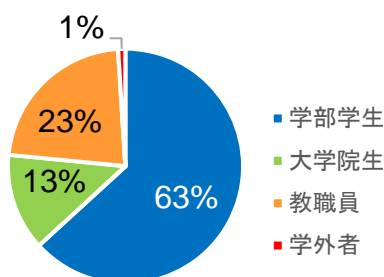
対象者： 徳島大学の学部学生、大学院生、教職員、図書館来館の学外者

方 法： 徳島大学の構成員はwebアンケート、学外者は図書返却者へのアンケート用紙配布による。

3. 回答状況

回答数 1,092人

区分	人数
学部学生	690
大学院生	146
教職員	245
学外者	11
合計	1,092



内 訳

学部	人数
総合科学部	113
医学部	206
歯学部	156
薬学部	36
理工学部、工学部	141
生物資源産業学部	38
学部計	690

大学院	人数
総合科学教育部	26
医科学教育部	7
栄養生命科学教育部	23
保健科学教育部	18
口腔科学教育部	18
薬科学教育部	14
先端技術科学教育部	40
大学院計	146

教職員	人数
社会総合科学域	13
理工学域	23
生物資源産業学域	7
医学域	21
歯学域	28
薬学域	12
保健学域	1
特定研究部門、連携研究部門	2
教養教育院	6
先端酵素学研究所	6
病院	24
その他の教育研究施設	21
事務系職員	81
教職員計	245

学外者	人数
学外者	11

※回答率(回答数/在籍数): 学部学生 11.7%, 大学院生 9.7%, 教職員 10.4%

4. 備考

(1) 前回(平成28年度)アンケートとの比較

前回は学部学生と大学院生の合計を学生数としていたが、学修する対象が異なるため、今回から区別して分析した。前回の「学生回答」は、学部学生と大学院生との内訳を区別できないため、割合の多い学部学生の数値と見なして、今回との比較に用いた。したがって、大学院生の前回との比較は行っていない。

また、前回(平成28年度)アンケート分析においては「複数回答可」の項目について、分母には複数回答数累計を用いて算出していたが、今回の調査から分母は全てアンケート回答者の実数とした。比較する際には前回のアンケート結果の分母を前回の回答者実数に置き換えた割合を用いた。したがって、前回アンケート「結果分析」において記載している割合の数値とは異なる場合がある。

(2) グラフの凡例

「本①学部学生」: 総合科学部、理工学部、工学部及び生物資源産業学部の学部学生による回答

「分①学部学生」: 医学部、歯学部及び薬学部の学部学生による回答

「本②大学院生」: 総合科学教育部、先端技術科学教育部の大学院生による回答

「分②大学院生」: 医科学教育部、栄養生命科学教育部、保健科学教育部、口腔科学教育部、薬科学教育部の大学院生による回答

「本③教職員」: 社会総合科学域、理工学域、生物資源産業学域及び教養教育院の教職員による回答

「分③教職員」: 医学域、歯学域、薬学域、保健学域、特定研究部門、連携研究部門、先端酵素学研究所及び病院の教職員による回答

「他③教職員」: その他の教育研究施設の教職員及び事務系職員による回答

「本館計」及び「分館計」: 「本館計」は本①から③、「分館計」は分①から③の合計であり、地区不明(「他③教職員」及び学外者)は含んでいない。

I 利用目的、利用状況について

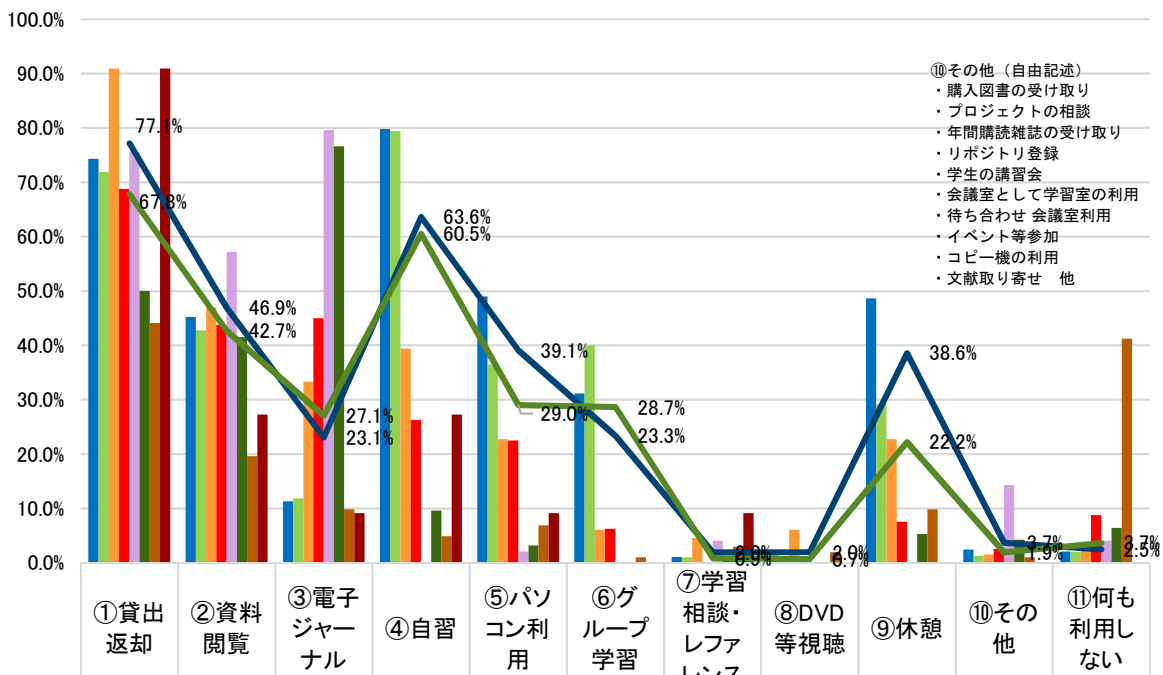
(1) 利用目的

図書館の利用目的は、学部学生では本館・分館ともに自習が最も多く(本館79.8%, 分館79.4%), 次いで貸出・返却(74.3%, 71.9%)と続くが、3位以下は本館では3位パソコン利用(49.0%), 4位休憩(48.6%), 5位資料閲覧(45.2%), 分館では3位資料閲覧(42.7%), 4位グループ学習(39.9%), 5位パソコン利用(36.4%)と順位が異なる。前回調査(平成28年度)と比較すると、本館では4位の休憩が増加し(前回6位, 20.6%), グループ学習の順位が下がった(前回4位, 今回6位)。分館では4位のグループ学習が増加した(前回5位, 25.9%)。

また、今回から調査項目に含めた電子ジャーナル利用については、本館・分館ともに教職員では1位(79.6%, 76.6%), 大学院生でも上位(本館4位, 33.3%, 分館2位, 45.0%)であった。

Q1. どのような図書館サービスを利用していますか。(複数回答可)

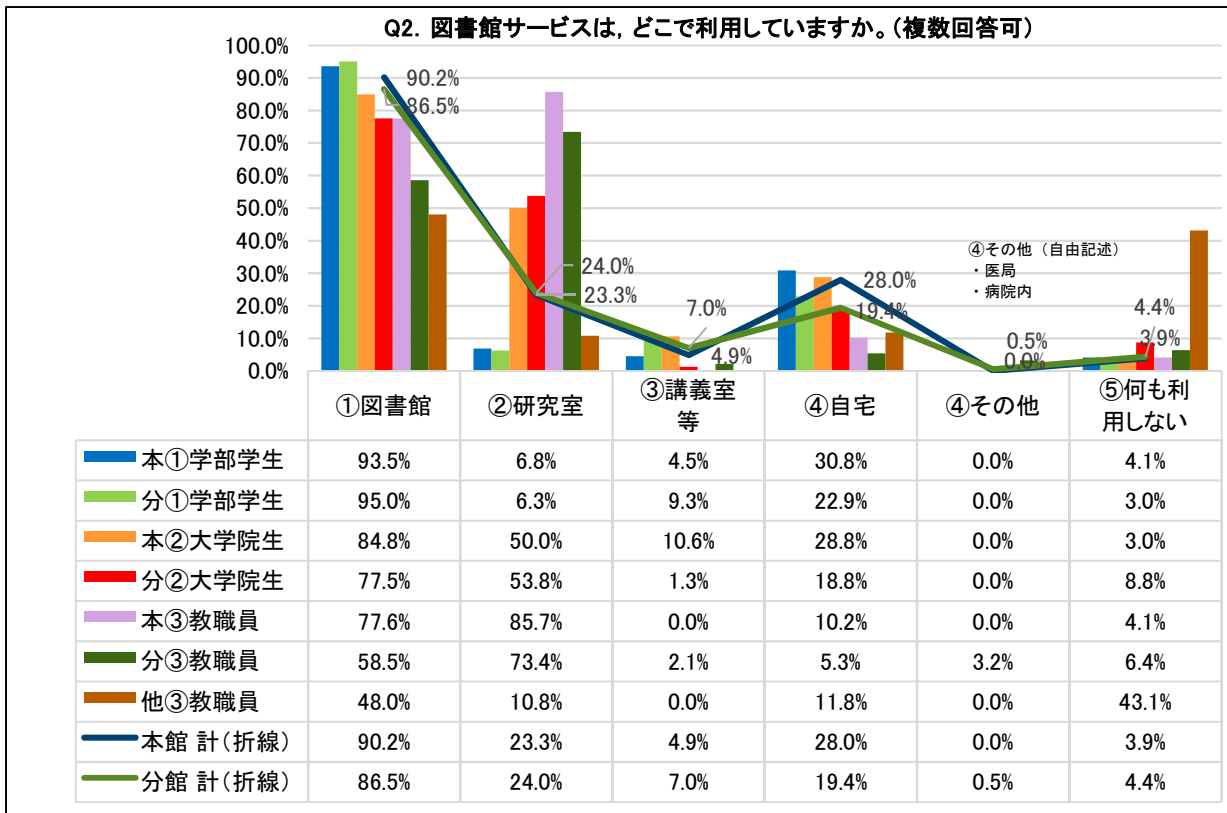
※「図書館サービス」には電子ジャーナルなどの非来館利用も含みます。



	①貸出返却	②資料閲覧	③電子ジャーナル	④自習	⑤パソコン利用	⑥グループ学習	⑦学習相談・レファレンス	⑧DVD等視聴	⑨休憩	⑩その他	⑪何も利用しない
■ 本①学部学生	74.3%	45.2%	11.3%	79.8%	49.0%	31.2%	1.0%	1.4%	48.6%	2.4%	2.1%
■ 分①学部学生	71.9%	42.7%	11.8%	79.4%	36.4%	39.9%	1.0%	0.8%	29.1%	1.3%	2.0%
■ 本②大学院生	90.9%	47.0%	33.3%	39.4%	22.7%	6.1%	4.5%	6.1%	22.7%	1.5%	3.0%
■ 分②大学院生	68.8%	43.8%	45.0%	26.3%	22.5%	6.3%	0.0%	1.3%	7.5%	2.5%	8.8%
■ 本③教職員	75.5%	57.1%	79.6%	0.0%	2.0%	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%	14.3%	4.1%
■ 分③教職員	50.0%	41.5%	76.6%	9.6%	3.2%	0.0%	1.1%	0.0%	5.3%	4.3%	6.4%
■ 他③教職員	44.1%	19.6%	9.8%	4.9%	6.9%	1.0%	2.9%	2.0%	9.8%	1.0%	41.2%
■ 学外者	90.9%	27.3%	9.1%	27.3%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
■ 本館計(折線)	77.1%	46.9%	23.1%	63.6%	39.1%	23.3%	2.0%	2.0%	38.6%	3.7%	2.5%
■ 分館計(折線)	67.8%	42.7%	27.1%	60.5%	29.0%	28.7%	0.9%	0.7%	22.2%	1.9%	3.7%

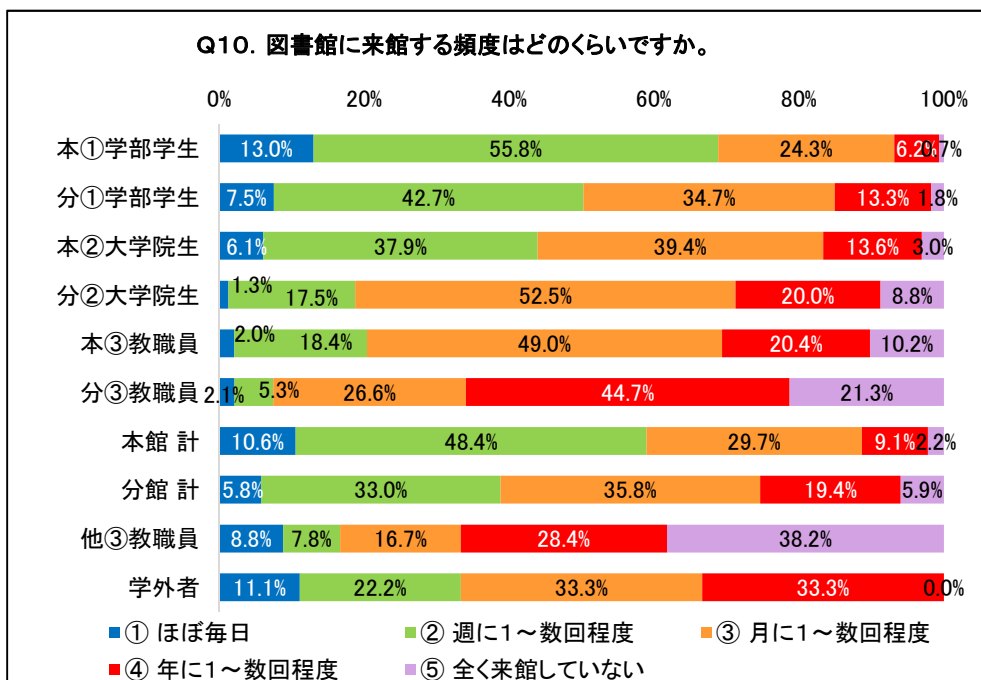
(2) 利用場所

今回の調査は電子ジャーナル等の「非来館型」も含めた図書館サービスの実情を把握するため、利用場所の質問を新たに調査した結果、大学院生の約半数は研究室からも図書館サービスを利用していることが分かる。また、自宅から図書館サービスを使う学部学生及び大学院生も一定数居ることからwebサービスが浸透しつつあると考えられる。

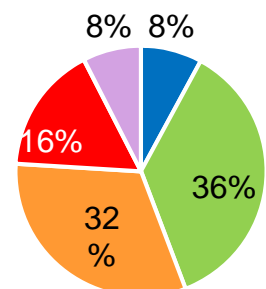


(3) 図書館への来館頻度

図書館に来館する頻度は学部学生では週に1回から数回程度が最も多く、本館55.8%(前回60.7%), 分館42.7%(前回45.0%)であったが、ほぼ毎日利用するのは本館13.0%(前回24.0%), 分館7.5%(前回21.8%)と前回より減少した。また教職員では、ほぼ毎日又は週に1回から数回程度の回答は本館20.4%(前回54.6%), 分館7.4%(前回13.6%)と前回より減少し、年に1回から数回程度又は全く来館していないという教職員も多く、非来館利用の傾向が見られる。

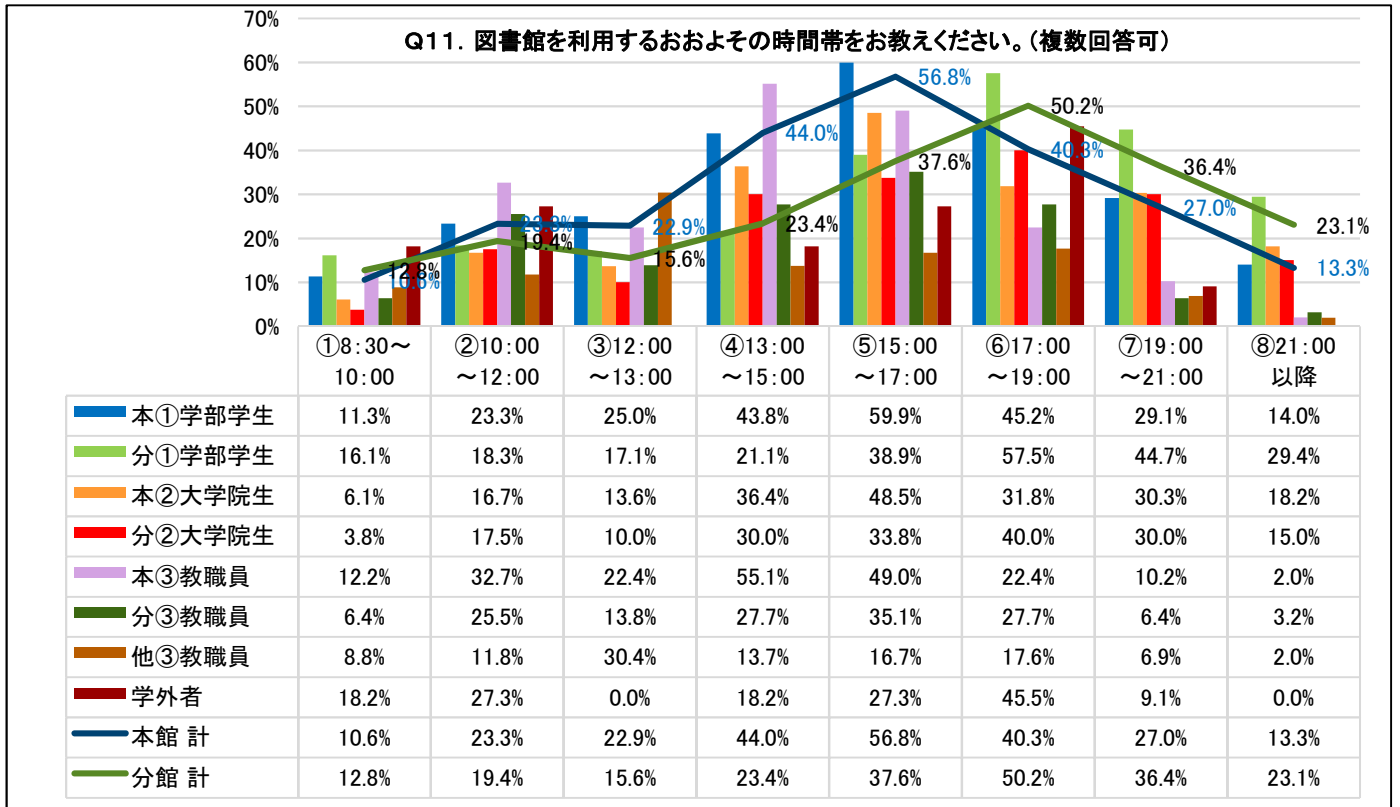


【全体】



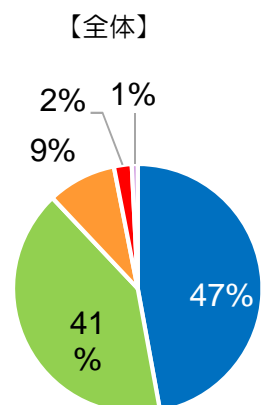
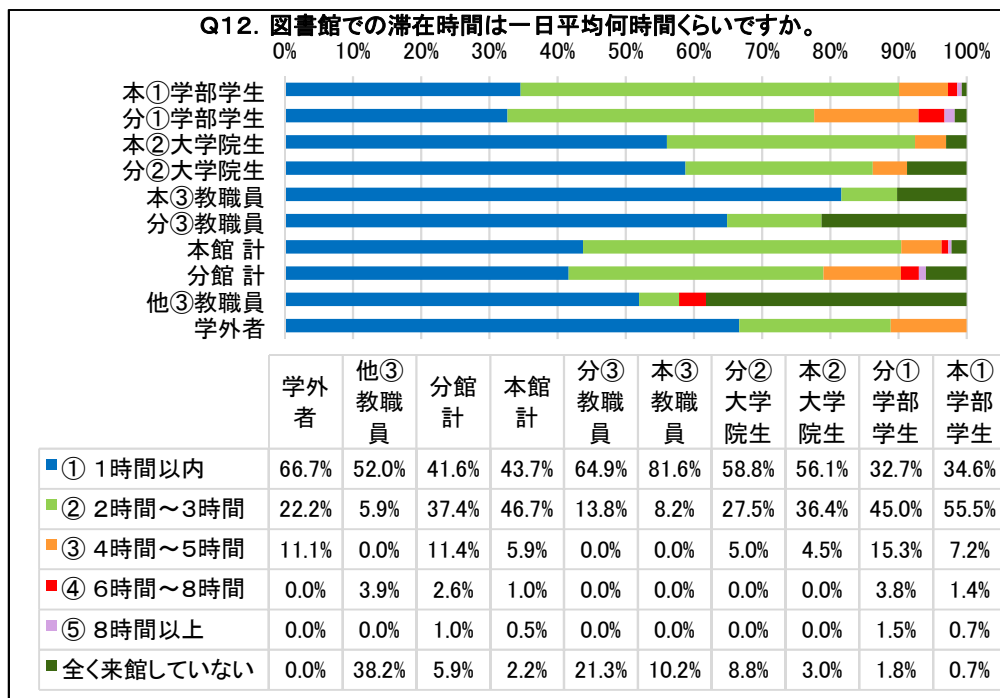
(4) 利用時間帯

利用時間帯は本館では13時から19時の間が多く、特に15時から17時の間がピークとなっている。分館では15時から21時の間が多く、特に17時から19時の間がピークとなっている。この傾向は前回と同様である。また、分館では21時以降(時間外特別利用)にも約30%が利用すると回答している。



(5) 滞在時間

滞在時間について今回初めて調査した結果、大学院生及び教職員は1時間以内が最も多いのに対し、学部学生では本館・分館ともに2時間から3時間が最も多く、4時間以上では本館9.3%、分館20.6%であり、快適な環境整備が必要と考えられる。



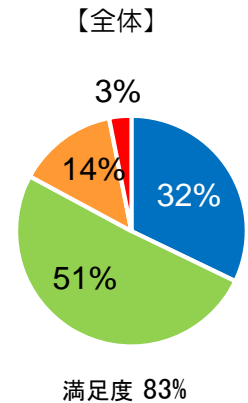
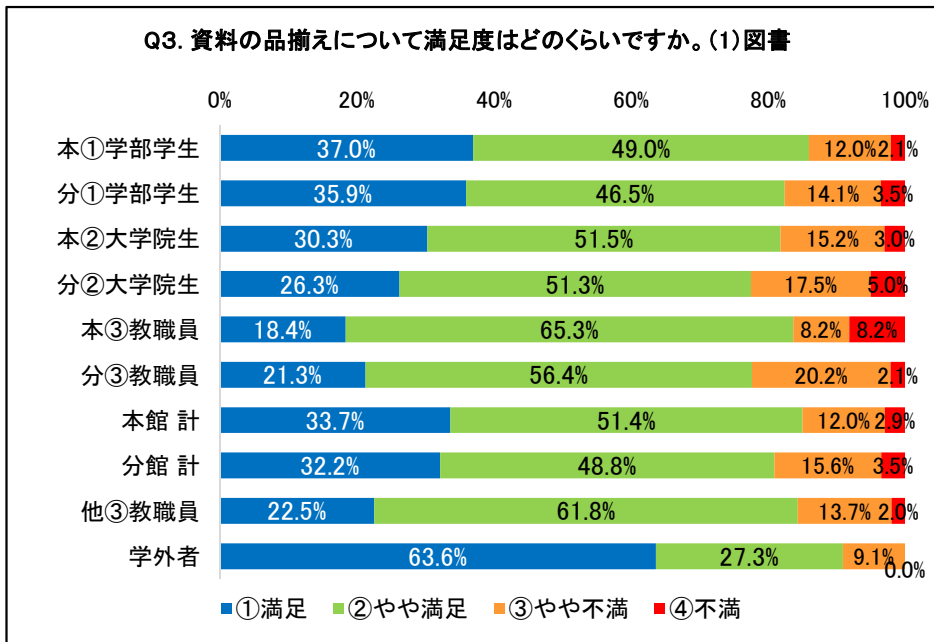
II 満足度について

II-1 資料の満足度

(1) 図書

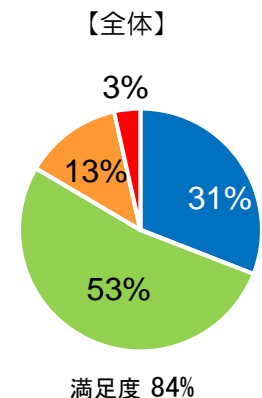
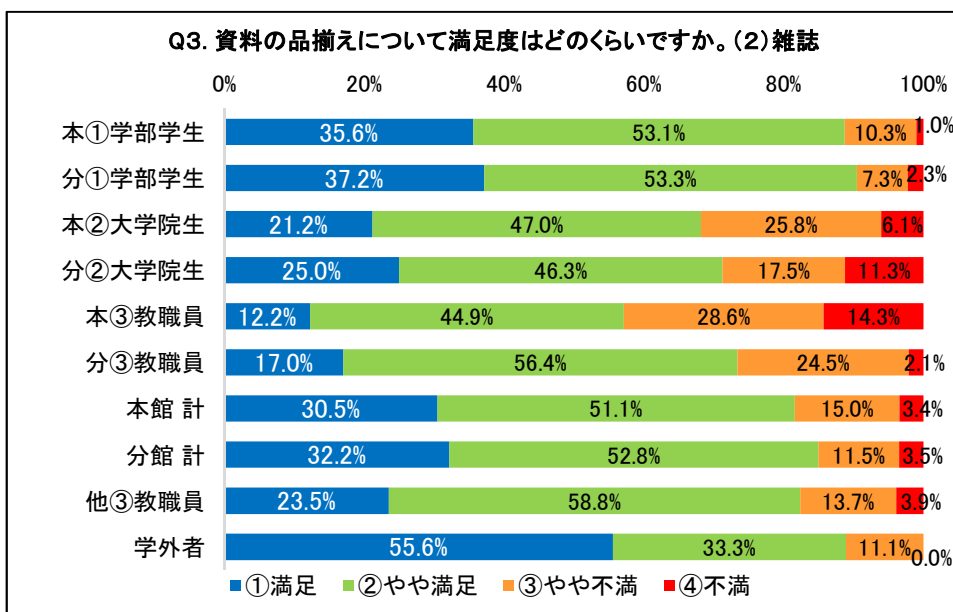
図書の品揃えについて全体で83%が満足又はやや満足と答えており、館別では本館85.1%(前回78.6%)、分館81.0%(前回69.4%)と前回よりともに満足度が上昇している。また身別では学部学生の満足度が本館86.0%(前回学生69.9%)、分館82.4%(前回69.9%)と伸びている。

なお自由記述では、最新の専門書や授業で使う本への要望の他、一般の教養本等への希望もあった。



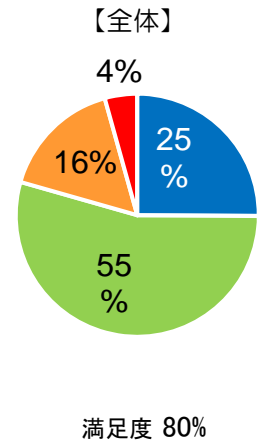
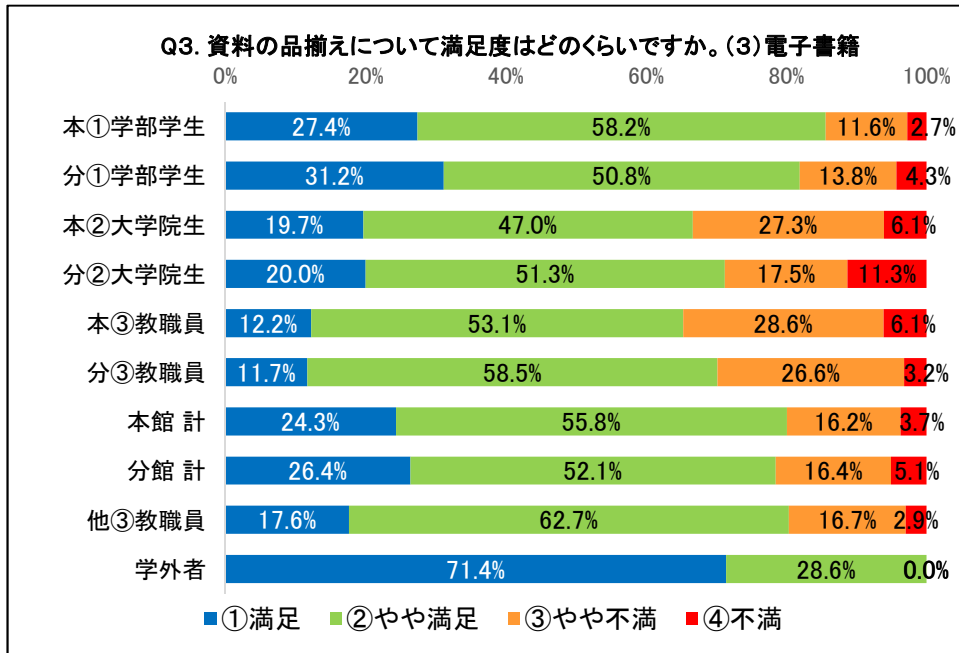
(2) 雑誌

学術雑誌は満足又はやや満足が84%(本館81.6%、分館85.0%)と前回より上昇している(前回本館65.2%、分館66.3%)。しかし身別に見ると本館の教職員の満足度が前回と同様にやや低い状態である。(本館教職員57.1%、前回本館教職員45.5%)。



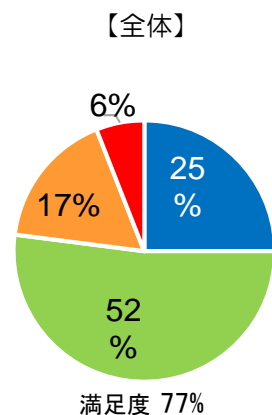
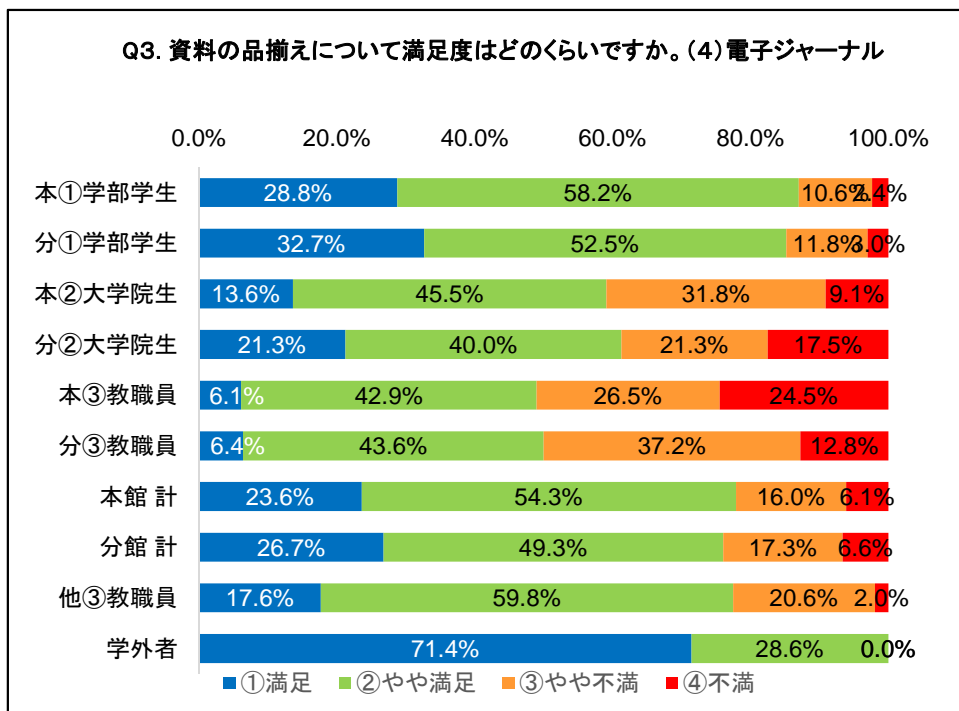
(3) 電子書籍

電子書籍の満足度について今回初めて調査したところ、全体で80%が満足又はやや満足という回答結果であった。全体的には満足されているが、図書に比べるとやや低いため、引き続き資料の充実と広報が必要と考えられる。



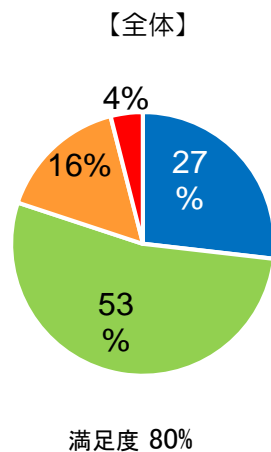
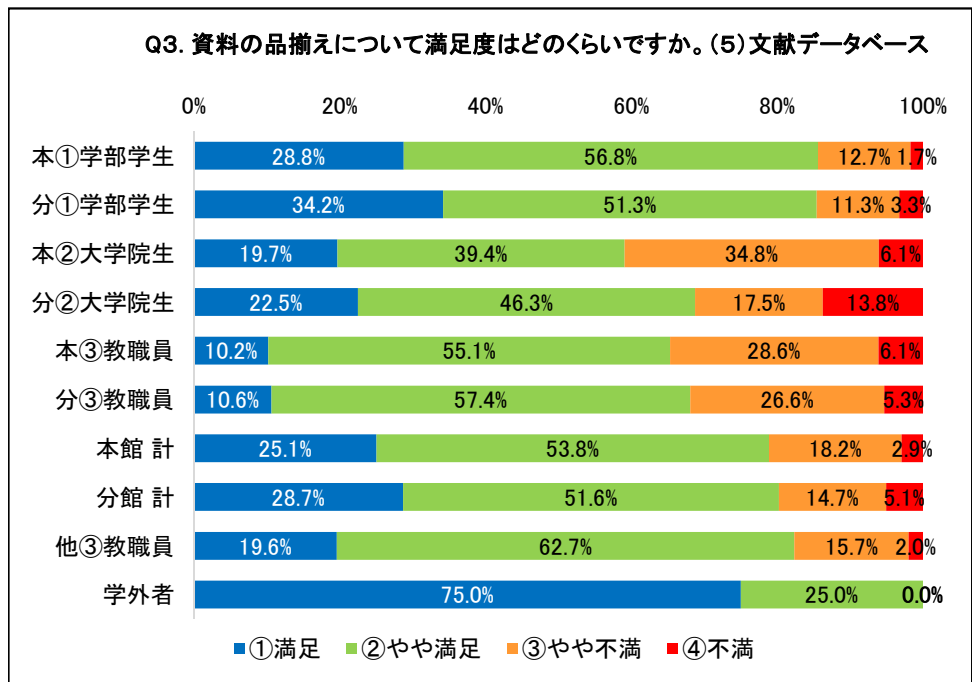
(4) 電子ジャーナル

電子ジャーナルの満足度について今回初めて調査したところ、全体で77%が満足又はやや満足という回答結果であった。なお、大学院生及び教職員については満足度がやや低く、特に教職員では満足又はやや満足と回答した割合が本館49.0%、分館50.0%と低く、常三島地区の教職員では約4分の1相当の24.5%が不満と答えた。



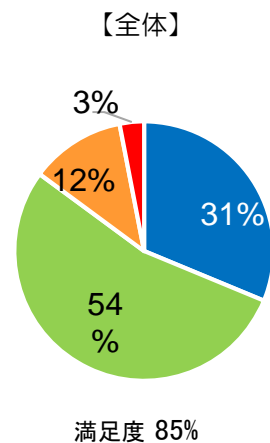
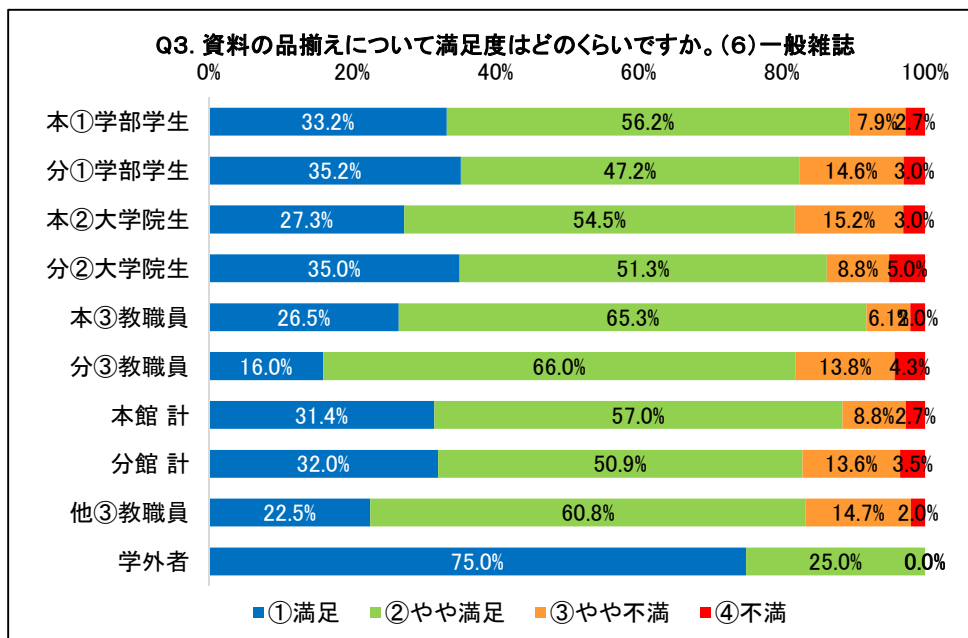
(5) 文献データベース

文献データベースの満足度について今回初めて調査したところ、全体で80%が満足又はやや満足という回答結果であった。なお、大学院生及び教職員では満足度がやや低くなり、常三島地区の大学院生又は教職員の方が蔵本地区より低い結果であった(本館 大学院生59.1%, 教職員65.3%)。



(6) 一般雑誌

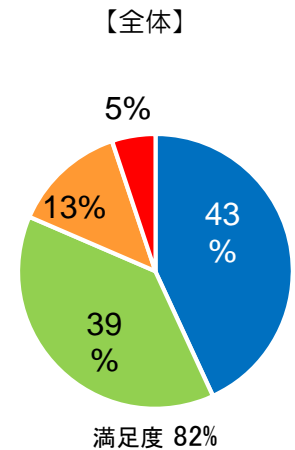
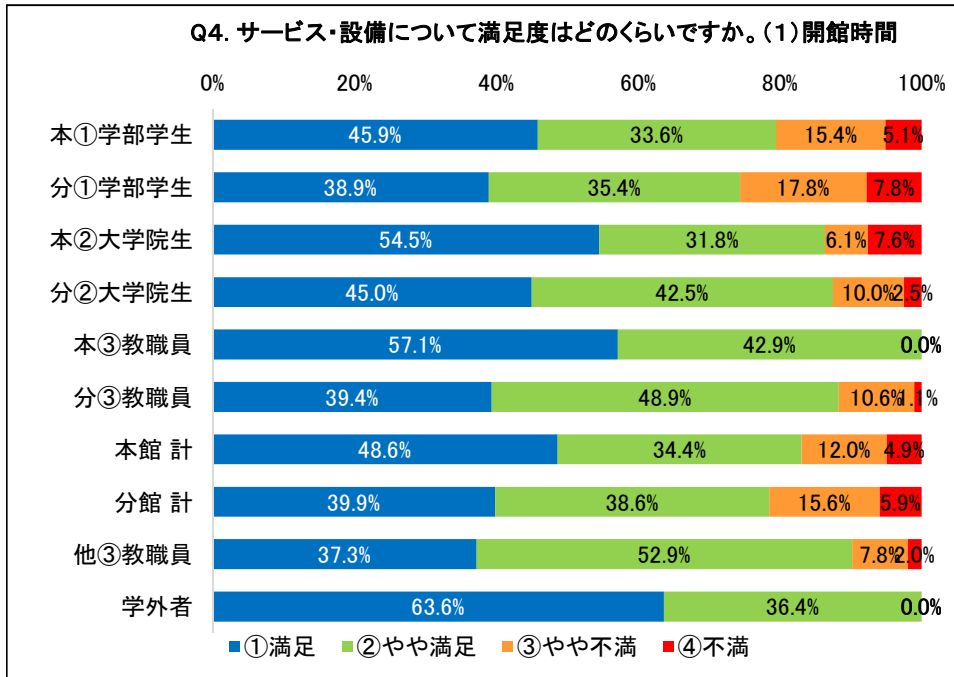
一般雑誌の満足度はどの身分でも総じて高く、全体では85%が満足又はやや満足と答えた。前回アンケートより本館88.4%(前回65.6%), 分館82.9%(前回68.7%)ともに改善されている。



II-2 サービス、設備等の満足度

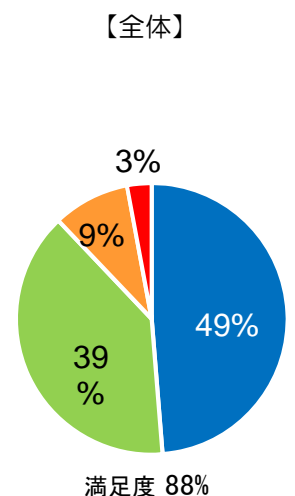
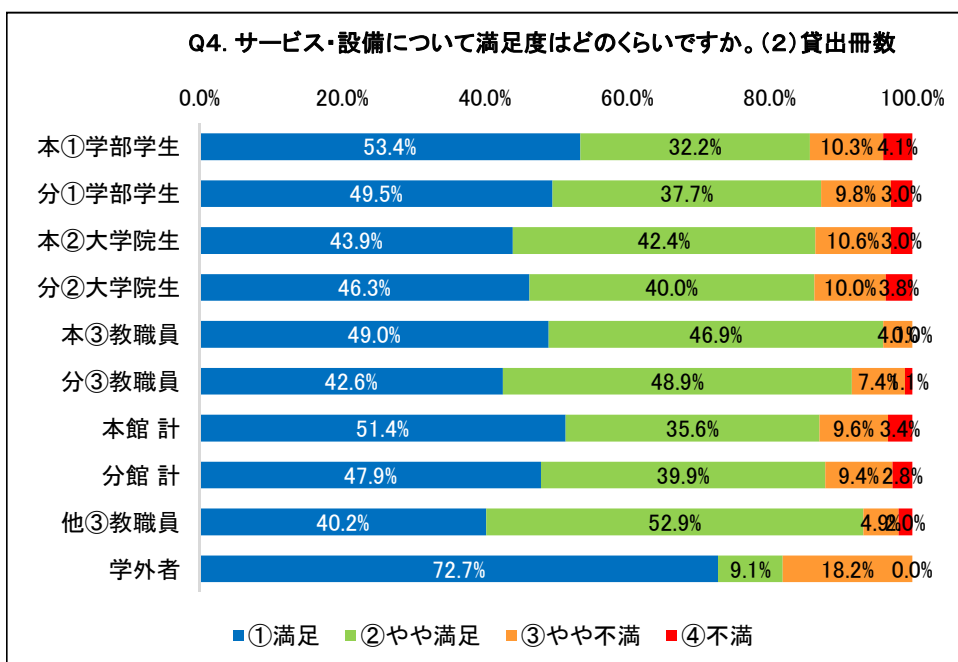
(1) 開館時間

開館時間は本館8時30分から22時まで、分館8時30分から21時までと前回までと同じであるが、アンケートでは本館83.0%(前回67.2%)、分館78.5%(前回72.1%)と、ともに満足度が上昇した。学部学生よりも大学院生及び教職員の方が満足度が高く、常三島地区教職員では満足又はやや満足と全員回答した。



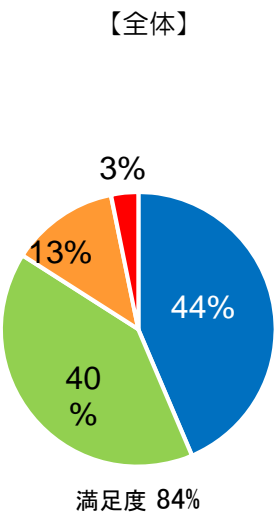
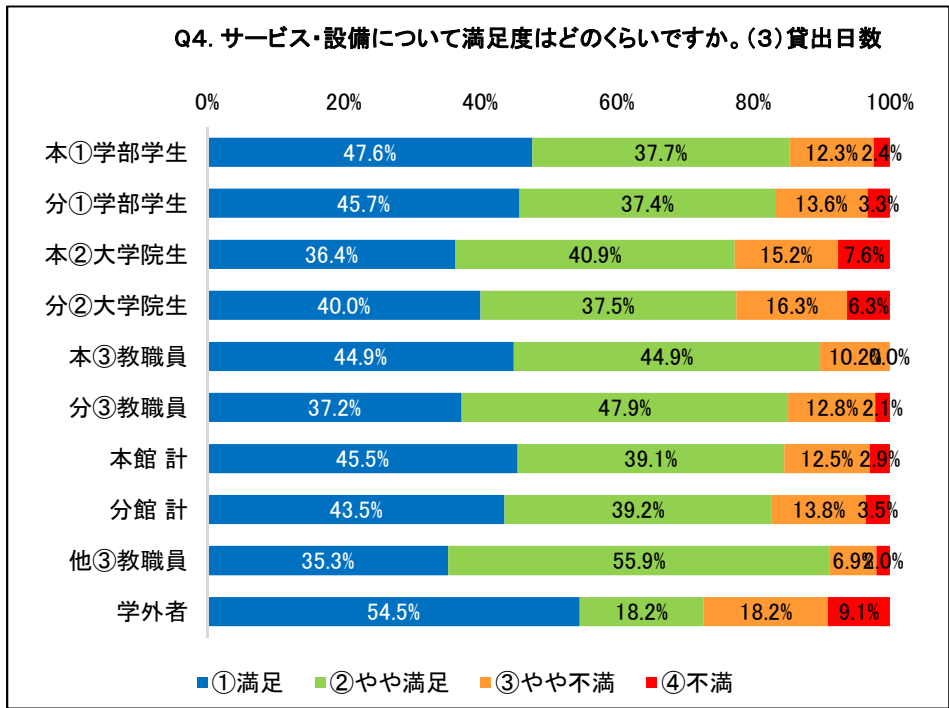
(2) 貸出冊数

貸出冊数は本館・分館ともに学内者は5冊、学外者は本館5冊、分館3冊であり前回までと同じであるが、アンケートでは本館87.0%(前回73.9%)、分館87.8%(前回76.2%)と、ともに満足度が上昇した。学部学生や大学院生に比べて教職員の満足度が高く、常三島地区教職員では満足又はやや満足との回答が95.9%であった。



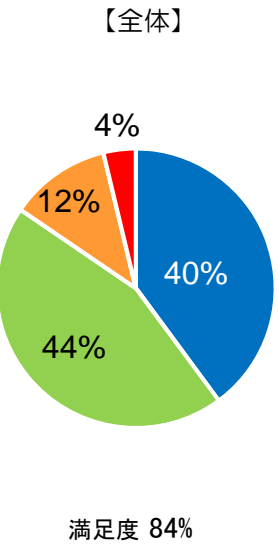
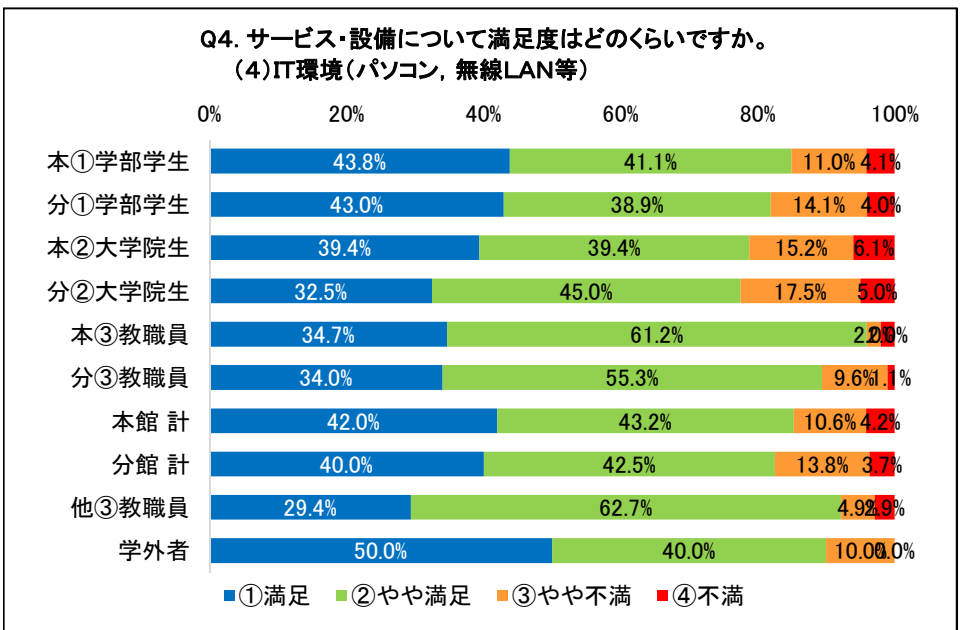
(3) 貸出日数

貸出日数は本館・分館ともに2週間で前回と同じであるが、アンケートでは本館84.6%(前回66.8%), 分館82.7%(前回74.1%)と、ともに満足度が上昇した。



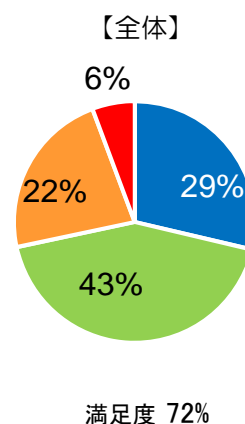
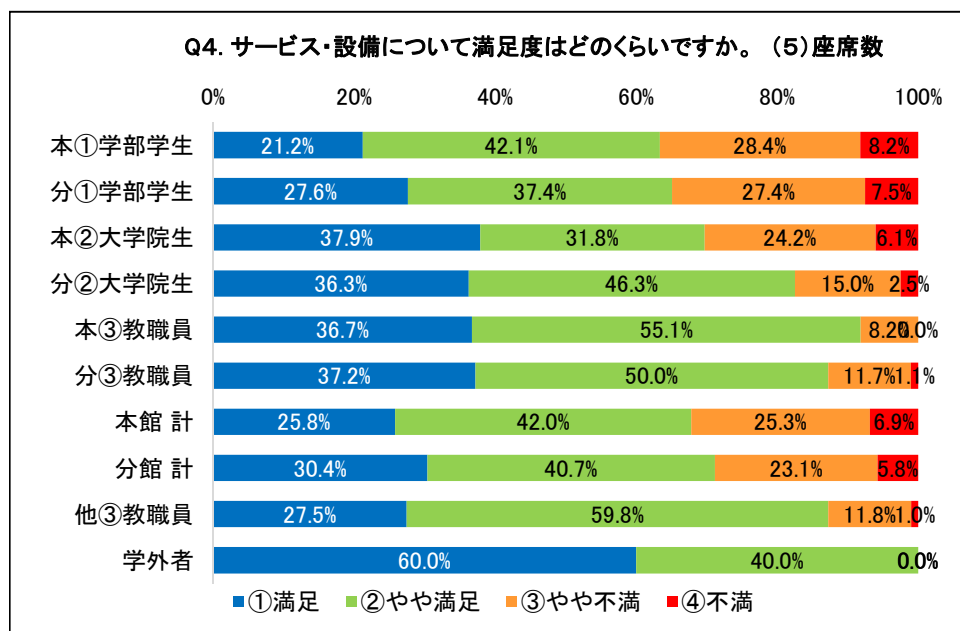
(4) IT環境 (パソコン, 無線LAN等)

前はパソコンについてのみの質問であったが、今回から無線LAN等を含むIT環境として満足度を尋ねたところ、本館では85.2%, 分館では82.5%が満足又はやや満足と回答した。最も満足率が高いのは常三島地区教職員で95.9%であるのに対し、最も低いのは蔵本地区大学院生の77.5%と開きが見られた。なお、前回のパソコンのみの調査では本館49.0%, 分館54.1%の満足度であった。



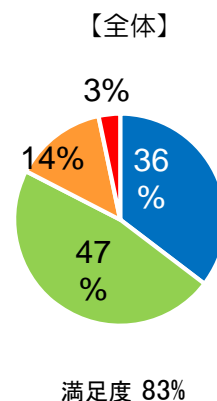
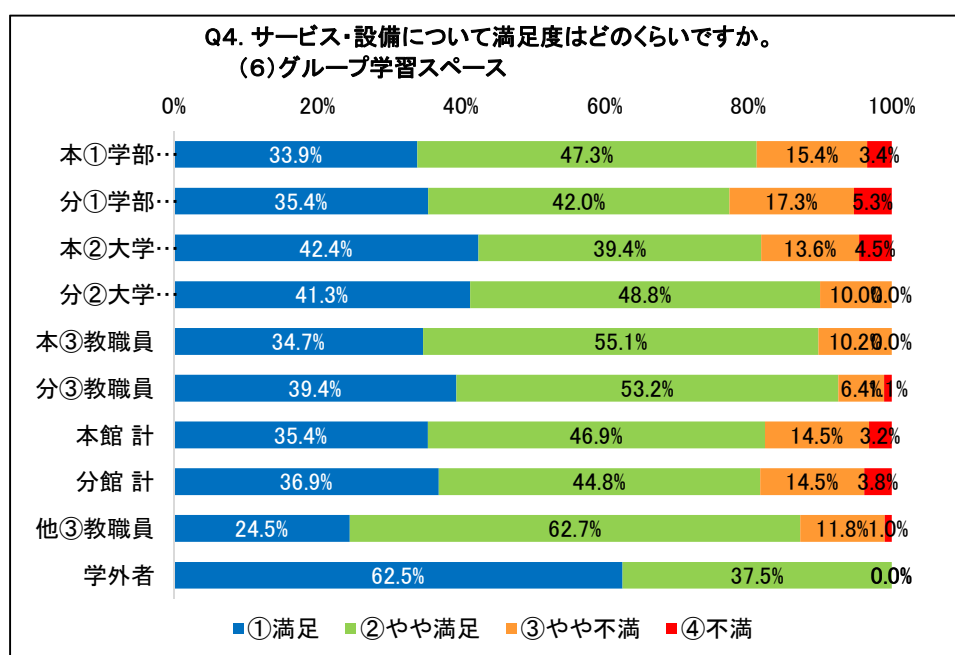
(5) 座席数

座席数は本館638席，分館454席で前回と同じであるが，満足又はやや満足と答えた割合が本館では70.8%（前回52.7%），分館では71.1%（前回57.5%）であった。しかし学部学生が本館63.3%，分館65.0%と低かったのに対し，教職員は本館91.8%，分館87.2%と高い結果となり，差が見られる。



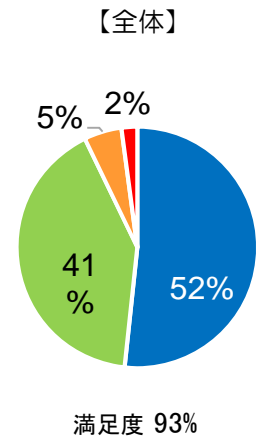
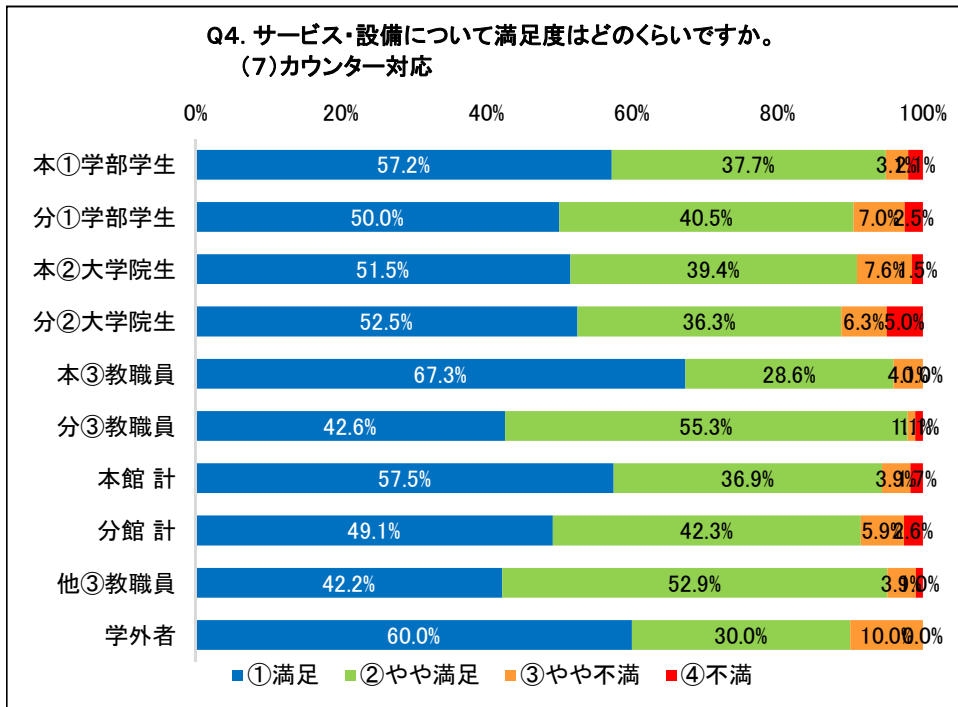
(6) グループ学習スペース

グループ学習スペースとしては両館ともラーニング・commonsやグループ研究室(学習室)等を備えており，どの身分でも平均的に満足度が高い。なお自由記述では医学部，歯学部及び生物資源産業学部の学生から，グループワークができる部屋の増設の要望等もあった。



(7) カウンター対応

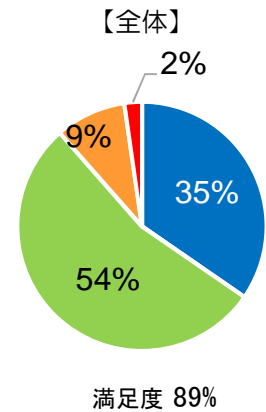
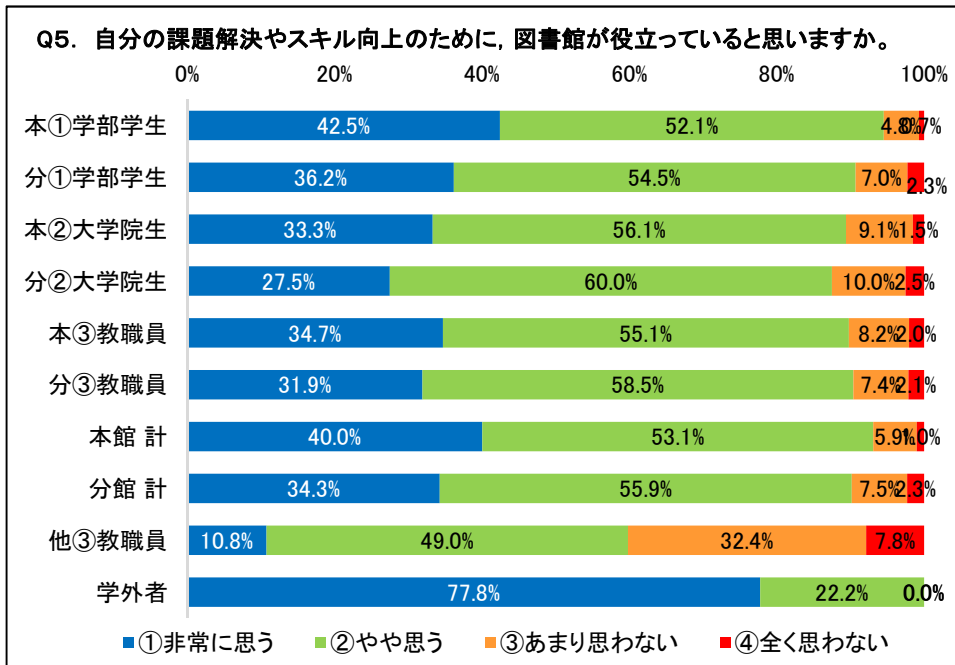
カウンター対応については本館94.9%(前回83.7%),分館91.4%(前回91.9%)が満足又はやや満足と回答した。また満足と答えた割合も高く、常三島地区教職員では67.3%が満足している。



Ⅱ-3 課題解決の場、利用者の意見反映についての満足度

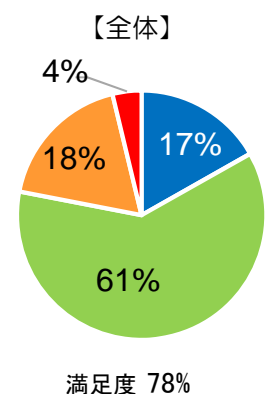
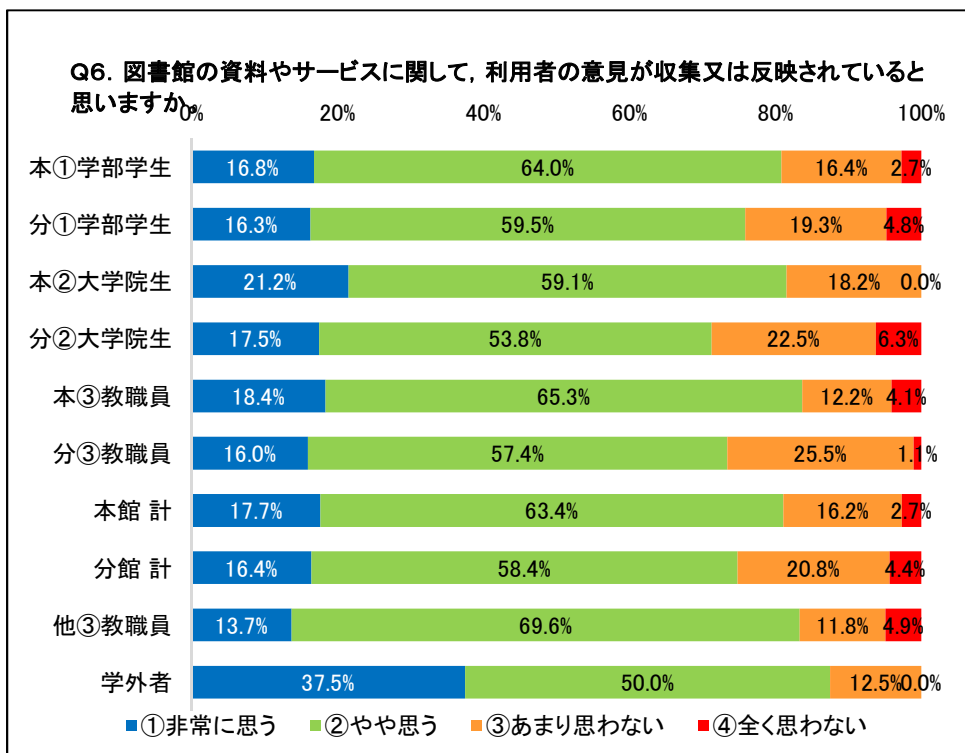
(1) 課題解決の場、スキル向上の場

図書館が様々な目的の「場」として利用されていることを確認する目的で、今回初めて調査した結果、自分の課題解決やスキル向上のために、図書館が役立っていると考える割合は、本館93.1%、分館90.2%と高率であった。特に本館の学部学生では非常に思うと回答した人が42.5%であった。



(2) 利用者の意見収集、反映

図書館の資料やサービスに関して、利用者の意見を収集して反映していると利用者が考えるかどうかを確認する目的で、今回初めて調査した結果、本館では81.1%、分館では74.8%が非常にそう思う又はやや思うと回答した。

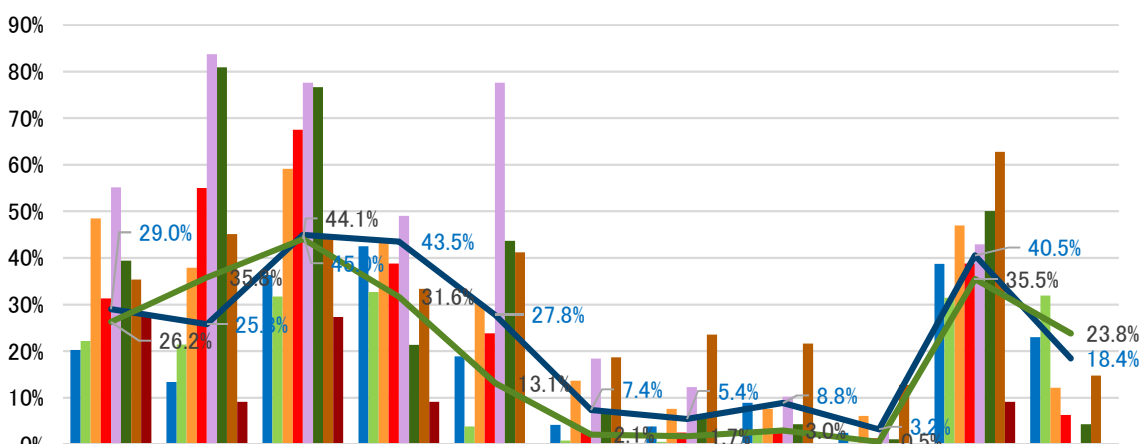


Ⅲ 広報等の効果（認知度）について

(1) Webサービス・電子資料の認知度

今回初めて図書館で提供しているwebサービス・電子資料の認知度を調査した結果、電子ジャーナル及び文献データベースは教職員では認知度が高く、大学院生、学部学生と順に少なくなる傾向であった。また、貸出延長や予約などができるマイライブラリの機能は学部学生及び大学院生によく認知されているという結果であった。なお、広報手段としては図書館ホームページは総じて認知・利用されているが、SNS関係の認知度が低いことから広報方法等検討が必要である。

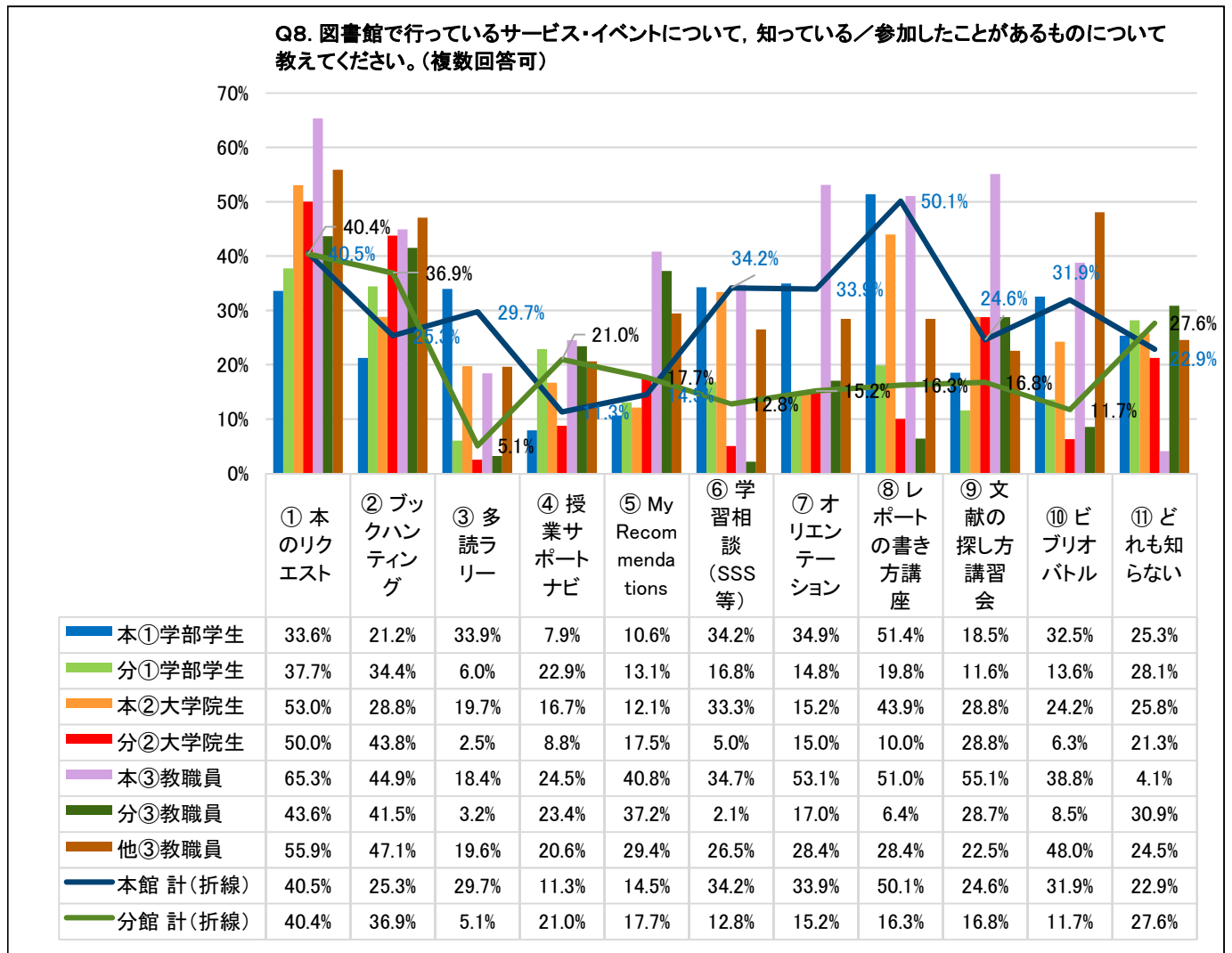
Q7. 図書館で提供しているWebサービス・電子資料について、知っている／利用したことがあるものについて教えてください。(複数回答可)



	① 電子書籍	② 電子ジャーナル	③ 文献データベース	④ マイライブラリ	⑤ 徳島大学機関リポジトリ	⑥ 貴重資料デジタルライブラリ	⑦ Facebook	⑧ Twitter	⑨ Instagram	⑩ 図書館ホームページ情報	⑪ どれも知らない
本①学部学生	20.2%	13.4%	36.3%	42.5%	18.8%	4.1%	3.8%	8.9%	2.4%	38.7%	22.9%
分①学部学生	22.1%	21.4%	31.7%	32.7%	3.8%	0.8%	0.5%	2.8%	0.3%	31.4%	31.9%
本②大学院生	48.5%	37.9%	59.1%	43.9%	30.3%	13.6%	7.6%	7.6%	6.1%	47.0%	12.1%
分②大学院生	31.3%	55.0%	67.5%	38.8%	23.8%	2.5%	2.5%	2.5%	1.3%	38.8%	6.3%
本③教職員	55.1%	83.7%	77.6%	49.0%	77.6%	18.4%	12.2%	10.2%	4.1%	42.9%	0.0%
分③教職員	39.4%	80.9%	76.6%	21.3%	43.6%	7.4%	6.4%	4.3%	1.1%	50.0%	4.3%
他③教職員	35.3%	45.1%	45.1%	33.3%	41.2%	18.6%	23.5%	21.6%	12.7%	62.7%	14.7%
学外者	27.3%	9.1%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
本館計(折線)	29.0%	25.8%	45.0%	43.5%	27.8%	7.4%	5.4%	8.8%	3.2%	40.5%	18.4%
分館計(折線)	26.2%	35.8%	44.1%	31.6%	13.1%	2.1%	1.7%	3.0%	0.5%	35.5%	23.8%

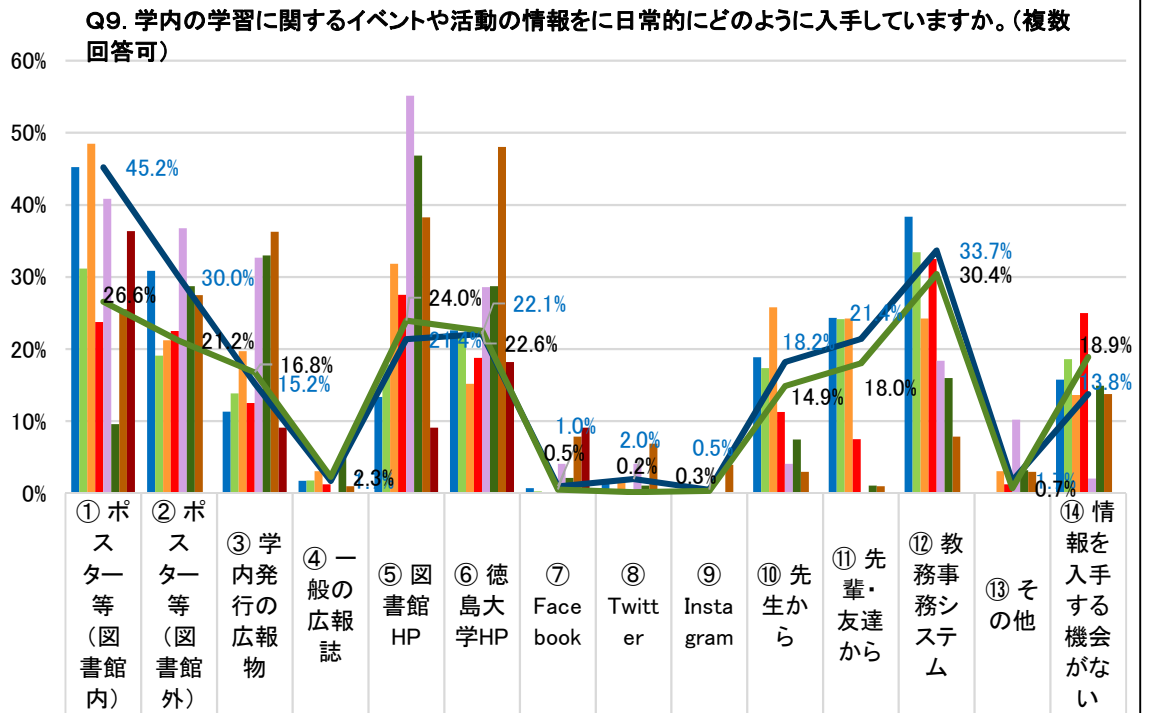
(2) 図書館のサービス・イベントの認知度

図書館で行っているサービス・イベントについて認知度を調査した結果、本のリクエストやブックハンティングについては全体的にやや認知されているが、項目によって本・分館に違いが見られており、本館では多読ラリー、学習相談（SSS）、レポートの書き方講座、ビブリオバトル等が分館に比べて認知度が高く、分館では授業サポートナビの認知度が本館に比べて高い結果であった。



(3) 学習に関するイベント等の情報入手方法

図書館で行っているサービス・イベント等について情報入手方法について調査した結果、学部学生及び大学院生では館内掲示の他、教務事務システムからの情報収集が多かった。なお、情報を入手する機会がないと答えた割合もやや多く、活動の広報方法の検討も今後の課題である。



	①ポスター等(図書館内)	②ポスター等(図書館外)	③学内発行の広報物	④一般の広報誌	⑤図書館HP	⑥徳島大学HP	⑦Face book	⑧Twitter	⑨Instagram	⑩先生から	⑪先輩・友達から	⑫教務事務システム	⑬その他	⑭情報を入手する機会がない
本①学部学生	45.2%	30.8%	11.3%	1.7%	13.4%	22.6%	0.7%	1.7%	0.3%	18.8%	24.3%	38.4%	0.0%	15.8%
分①学部学生	31.2%	19.1%	13.8%	1.8%	17.8%	21.9%	0.3%	0.0%	0.0%	17.3%	24.1%	33.4%	0.0%	18.6%
本②大学院生	48.5%	21.2%	19.7%	3.0%	31.8%	15.2%	0.0%	1.5%	0.0%	25.8%	24.2%	24.2%	3.0%	13.6%
分②大学院生	23.8%	22.5%	12.5%	1.3%	27.5%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	11.3%	7.5%	32.5%	1.3%	25.0%
本③教職員	40.8%	36.7%	32.7%	0.0%	55.1%	28.6%	4.1%	4.1%	0.0%	4.1%	0.0%	18.4%	10.2%	2.0%
分③教職員	9.6%	28.7%	33.0%	5.3%	46.8%	28.7%	2.1%	1.1%	0.0%	7.4%	1.1%	16.0%	3.2%	14.9%
他③教職員	25.5%	27.5%	36.3%	1.0%	38.2%	48.0%	7.8%	6.9%	3.9%	2.9%	1.0%	7.8%	2.9%	13.7%
学外者	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
本館計(折線)	45.2%	30.0%	15.2%	1.7%	21.4%	22.1%	1.0%	2.0%	0.5%	18.2%	21.4%	33.7%	1.7%	13.8%
分館計(折線)	26.6%	21.2%	16.8%	2.3%	24.0%	22.6%	0.5%	0.2%	0.3%	14.9%	18.0%	30.4%	0.7%	18.9%